

第 22 回補助事業に関する第三者委員会（平成 28 年 7 月 1 日）における委員指摘事項とその対応

指摘事項	進捗（検討）状況
<p><b>&lt;酪農ヘルパーについて&gt;</b>  <b>【増田委員】</b>            ○酪農ヘルパーは、一般の人たちには、ほとんど知られていないという印象がある。求人広告や農業フェア、学校訪問で募集しているが、若い人を集めるために、さまざまな形での PR 活動等を行っていきべきではないか。            また、酪農ヘルパーの実態がどうなのかということをもっと広報したほうがいいのではないか。</p> <p><b>【永木委員】</b>            ○酪農ヘルパーというのは、今、世間で言われている介護士や保育士が足りないということと同様で、もう少し社会に問題提起していくことが、酪農を支えていくために必要と想料。酪農は、毎日 1 日も欠かさず仕事をしなければいけないため、こうした特殊な事情でヘルパーが不足して大変だということを訴えることは、非常に重要ではないか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでも「畜産の情報」や「広報誌」などで酪農ヘルパー制度や事例等について、逐次、紹介してきたほか、一般社団法人酪農ヘルパー全国協会（以下「ヘルパー協会」という。）が行う酪農ヘルパーの利用実態調査等に対し支援してきたところ。              なお、同協会においても、HP 等で各種 PR を行っている。</li> <li>2 平成 28 年度についても、酪農経営安定化支援ヘルパー事業において酪農ヘルパーの利用実態調査を実施し、平成 28 年 12 月 8 日にヘルパー協会の HP で公表</li> <li>3 また、ヘルパー協会が平成 28 年 12 月 7 日に開催した酪農ヘルパー事業中央研究会を広報消費者課が取材。これを踏まえて酪農ヘルパーの実態等を紹介した記事「酪農ヘルパー”地域で活躍!”」を広報誌（平成 29 年 3 月号）に掲載</li> <li>4 このほか、酪農ヘルパーの現状等を紹介した「酪農経営の安定的な発展に向けて～酪農ヘルパーによる担い手の確保・育成～」を「畜産の情報」（平成 29 年 2 月号）に掲載（ヘルパー協会）</li> <li>5 さらに、人材確保対策として、平成 29 年度から新たに「酪農ヘルパーに関心のある学生を対象としたインターンシップ」に対する支援を実施</li> <li>6 今後も引き続き、各種機会をとらえ、情報を提供していく。</li> </ol>